

防災気象情報の効果的な活用（大雨の場合）

大雨

約1日程度前
大雨の可能性が
高くなる



半日～数時間前
大雨始まる



強さ増す



数時間前
～2時間程度前



大雨が一層
激しくなる



広い範囲で
数十年に一度の
大雨

気象庁の情報

大雨に
関する
気象情報

大雨
注意報

大雨警報

大雨
特別警報

土砂災害警戒情報

記録的短時間大雨情報

市町村の対応

- ・担当職員の連絡態勢確立
- ・気象情報や雨量の状況を収集

- ・注意呼びかけ
- ・警戒すべき区域の巡回

- ・警報の住民への周知
- ・避難場所の準備・開設
- ・必要地域に避難準備情報
- ・応急対応態勢確立

- ・必要地域に避難勧告
- ・避難の呼びかけ
- ・必要地域に避難指示

- ・特別警報が発表され非常に危険な状況であることの住民への周知
- ・直ちに最善を尽くして身を守るよう住民に呼びかけ

住民の行動

気象情報・空の変化に注意



Point
備えは大丈夫？



- ・周りより低い場所など、危険箇所を把握
- ・避難場所や避難ルートを確認しておく

最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備を
雨・風の影響を受けやすい地区、避難困難者は早めの行動を



- ・気象情報や外の様子に注意
- ・非常用品や避難場所、避難ルートを確認
- ・窓や雨戸など家の外の点検

自治体が発表する避難に関する情報に留意し、必要に応じ速やかに避難



Point
特別警報が発表
されていなくても
早め早めの行動を！



直ちに地元市町村の避難情報に従う等適切な行動を
避難場所へ避難するか、外出することが危険な場合は、
家の中でも2階などの安全な場所にとどまる



「住居の位置」や「住居の構造」、
「既に浸水が生じている状況なのか否か」
によって「自宅外避難」の必要性は異なりますので、冷静な判断が重要です。
災害から命を守ることができる行動を
考えておきましょう。